

大宰府は、平城京や平安京と同じく条坊制を布しき、自然の山河や水城、大野城、基肄城きいじょうに護られた防衛都市であり、風水思想にのっとり築かれた都市でもありました。

中心部には政庁の建物が立ち並び、律令制に基づき 1,000 人を超える官人が働いていたといわれています。

天智 2 年(663)、日本が唐・新羅の連合軍に負けた白村江の戦い後、水城や大野城とともに造られ、その後整備拡充されたと考えられています。

大宰府天満宮

